



第17号 平成22年6月



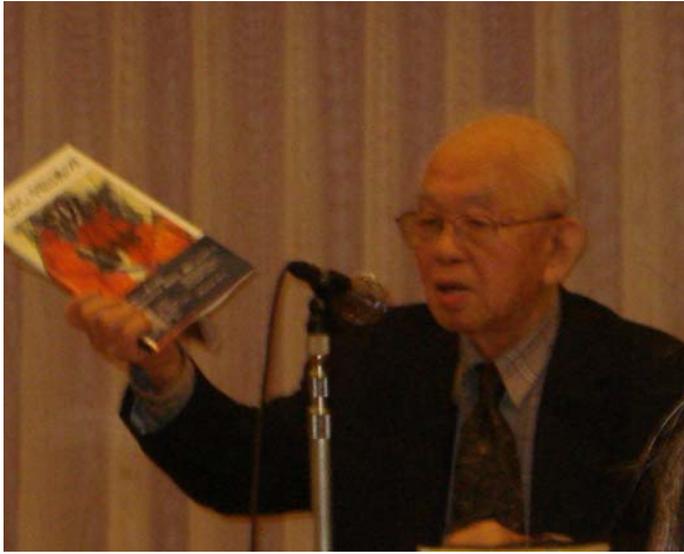
そのすけ

## 佐藤惣之助碑 (川崎市教育委員会文化財さんぽホームページより)

写真は、川崎区の川崎市体育館前花壇の中にある「佐藤惣之助碑」です。惣之助(1890～1942)は、「六甲嵐(ろっこうおろし)」の作詞者として知られる川崎市出身の詩人で、詩碑は各地にあります。そのうち、那覇市の虎瀬公園にある碑は昭和34(1959)年に川崎市などが建立したもので、やはり川崎市生まれの陶芸家濱田庄司作成の陶板がはめ込まれています。川崎市と那覇市は、平成8(1996)年に友好都市となりましたが、それ以前からこのような縁もあったのです。

発行 川崎市公文書館

# 百万都市の江戸を支えた川崎市域



講師 法政大学名誉教授 村上直氏

江戸時代の人々は、一日に8～9里歩いたそうです。すると、江戸日本橋から1日で行ける範囲にすっぽり入るのが川崎市域となります。このことは、川崎が大都市江戸の農産物の供給地であり、手近な観光地であり、交通の要所であったことを教えてくれています。

当日は、こうしたお話をたっぷり伺うことができた2時間でした。

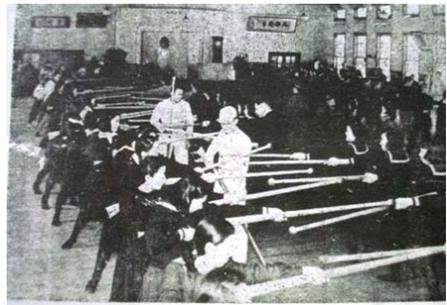


当日の資料は、公文書館で頒布しています。

日程	平成22年3月21日(日)
会場	エポックなかはら
参加者	55人

## 川崎大空襲記録展を終えて 川崎市平和館共催

川崎市平和館で3月13日から5月9日まで開催された「川崎大空襲記録展」には、前回より1,400人以上も多い13,594人の方々の御来館があり、平和を考えるよい機会になったという感想をいただきました。また、特別企画として



柔剣道訓練大会  
(昭和17年川崎市広報より)



空襲体験談とフルート四重奏の演奏や法政大学第二高等学校歴史研究部の生徒さんによるシンポジウムが行われました。

今回は、公文書館所蔵の空襲、防衛関係の資料や川崎市広報から当時の生活がうかがえる資料等をパネル展示しましたが、今後も平和館と連携を図り、より多くの方に興味を持っていただける展示を目指していきたいと考えています。

# 今年度の講座にも ご期待ください

## 歴史講座

(全3回)

テーマ『破壊と復興—震災・戦災を乗り越えた川崎—』

- 10月31日(日) 並木 和子 氏(当館非常勤嘱託員)  
「震災復興と市域の拡大(仮)」
- 11月7日(日) 奥平 晋 氏(しょうけい館戦傷病者史料館学芸員)  
「戦災と人々の苦闘(仮)」
- 11月14日(日) 村上 直 氏(法政大学名誉教授)  
「高度経済成長と地域の変貌—中原地区を中心に—(仮)」



昨年度の講座より



## 入門古文書講座

9月5、12、19日(日)

(全3回)

小宅 里美 氏(当館非常勤嘱託員)

## 初級古文書講座

11月28日(日)、12月5、12、19日(日)

(全4回)

笠原 綾 氏(日本放送協会学園古文書講座講師)

## 中級古文書講座

平成23年1月16、23、30(日)、2月6日(日)

(全4回)

岡崎 寛徳 氏(慶應義塾大学講師)



※各講座とも約2ヶ月前からの募集となります。

## こもんじょの種 ⑤ ~ 江戸時代の文書と「候」 ~

江戸時代の文書に用いられていた「御家流(おいえりゅう)」は、現在ではほとんどお目にかかる機会のない文章様式です。慣れるまではとまどうこともあるかもしれません。ですが、難しく考える必要はありません。「御家流」という決まった様式で書かれているということは、その様式の決まりごとに気付きさえすれば、ある程度読めるようになるということです。

「御家流」は「候文(そうろうぶん)」です。「候」は、江戸時代の公文書には欠かせない語彙であり、現代の「です・ます」などに相当します。この「です・ます」のところに「候」を使って書くのが「御家流」なのです。

例) 乍恐以書付奉願上候

(おそれながら かきつけをもって ねがいあげたてまつりそうろう)

急度可被仰付候

(きつと おおせつけらるべくそうろう)

江戸時代の古文書を  
解読するには、まず  
「候」表現に慣れる必要  
があるみたいだね♪



## 今月の公文書館



藤棚から眺めた東横池

新緑の季節を迎え、今年も夏鳥たちが渡ってきました。等々力緑地の東横池（釣池）では『コアジサシ』が、ホバリングして小魚を捕える姿でアマチュアカメラマンのシャッターチャンスを一占めしています。「土食って虫食って口渋い」としゃべくり飛んでいるのは『ツバメ』、渡り鳥ではありませんが、春告鳥の別名を持つ『ウグイス』は「ホーホケキョ」と鳴く練習を重ね、今では立派な縄張宣告をしています。

耳を澄ませて小鳥のさえずりの「聞きなし」を楽しんでみませんか？

### ◇開館時間

午前8時30分から午後5時まで

### ◇休館日

毎週月曜日

国民の祝日（国民の祝日が月曜日の場合は翌日）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

### ◇利用方法

市政資料室の資料は自由にご閲覧いただけます。それ以外の資料は、目録で検索し、事務室に申し出てください。ただし、資料の外部への持ち出しはできません。

資料等の複写サービス（実費）は、館内のコピー機がご利用いただけます。

公文書の閲覧については、情報公開制度により行ないます。

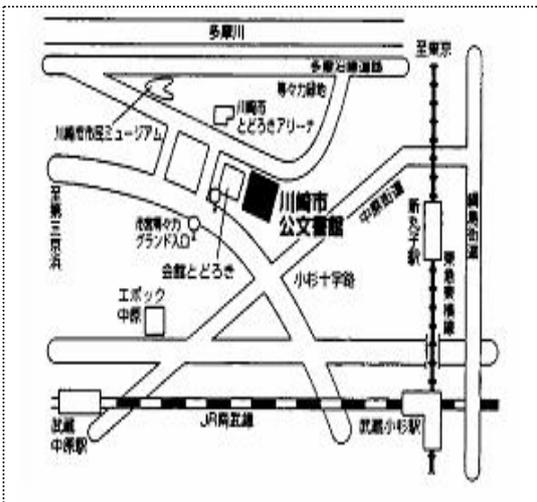
### ◇交通のご案内

#### 【バスの場合】

- JR南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」バスターミナルから市バス・東急バスとも「市営等々力グラウンド入口」下車
- JR南武線「武蔵溝ノ口駅」・東急田園都市線「溝の口駅」駅前（北口）から市バス・東急バスで「市営等々力グラウンド入口」下車

#### 【徒歩の場合】

- JR南武線「武蔵中原駅」から約15分・「武蔵小杉駅」から約20分
- 東急東横線「新丸子駅」から約15分



### 川崎市公文書館

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

電話 044-733-3933

FAX 044-733-2400

E-mail 16koubun@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/16/16koubun>

公文書館にある複製古文書は、所蔵者の許可を得て公開しているものです。閲覧の際は、取扱いに十分な注意をお願いします。

